

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	林田 健祐

開催日時	令和5年 2月9日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	安田忠典 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、井上 洋 委員、前田 浩 委員 南 寛子 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画 他
備考	

<b>議題等(次第順)</b>	
1 開会挨拶【学校長】 2 協議 1)進路状況報告【進路】 2)学校教育自己診断結果【首席】 3)令和4年度学校経営計画総括【学校長】 4)令和5年度学校経営計画【学校長】 4 保護者からの意見書について【事務局】 5 その他【事務局】	
<b>協議内容・承認事項等(意見の概要)</b>	
2 協議	
1) 進路状況報告【進路指導部】	
各委員からのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数が増えてほしいという気持ちがある。そういう方面でも支援できればと考えている</li> <li>・地域の学校では、まだ聴覚障がいへの配慮も十分ではないので、聴覚支援学校でしっかりと基礎学力を身につけて、大学へ送り出してほしい。支援学校から大学に行かせることに意味がある。</li> <li>・在宅ワークも増え、メタバースなども活用されている一方で、メタバース空間では健聴者と聴覚障がい者の区別がつかない。そうした変化に対応できるように、教育機関では大規模な変更が求められている。</li> </ul>	
3) 令和4年度学校経営計画総括	
各委員からのご意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書については、親もICTが手取り早く、本を読まない。親が読まなければ、子どもも読まないとなっているので、「本を読め」というだけではなく、本の魅力をどう伝えるかを考えていくが必要になる。</li> <li>・漫画を図書館にもっと入れてはどうか。ストーリーに触れることが大切で、それは本や漫画、映画でも可能である。聴覚障がい者にとっては、手話では表現されない方言や話し言葉なども、漫画を読んで学ぶことができる。</li> <li>・UDトークや映画の字幕などの速さについていけない人もいるので、動画の視聴等で、字幕になれておくようにしてほしい。</li> </ul>	
4) 令和5年度学校経営計画	
令和5年度 学校経営計画案について、出席委員の全会一致で承認。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ドリルや図書館利用など、多岐にわたって検討されていて良い。入社後にテストの成績が落ちる人もいるので、手話によるコミュニケーションだけでなく、文字の力も大切に高めてほしい。</li> <li>・教育では「拡張」、つまり自分が関わる世界を広げることが求められる。「もっとやろう」という気持ちを育て、学校で拡張を体感できる機会を増やしていくことが大切。</li> <li>・地域の手話同好会は、だいせんが創立したときに、生徒と登下校の場面で挨拶したいという思いから発足した。手話歌の披露など、学んだことを発信したいという人は多いので、そうした機会があれば教えてほしい。</li> <li>・新しい環境を求めて、だいせんを選んだ。新しいところで、自分の世界を広げる快さも感じていると思う。どんどん拡張してほしい。</li> </ul>	
3 保護者からの意見書について【事務局】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見書の提出はなし</li> </ul>	

<b>次回の会議日程</b>	
日時	令和5年6月1日(木)10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室